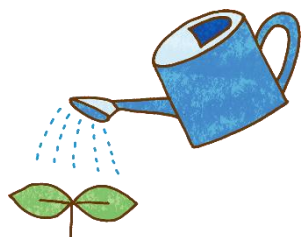


陽春の候

うるわしくお念仏ご相続のことと

大慶に存じあげます



圓滿寺 住職 棘 惠淨
副住職 棘 惠真



法座の御案内



野田村廿一人討死證如上人御消息披露法要

日時 5月8日(水) 午後1時半

講師 本願寺派布教使 野世 真隆 先生

講題 「立教開宗800年をお迎えして」

12時半より討死記念碑前(玉川コミュニティセンター横)で勤行いたします。

当山独自の法要です。今を去る約490年前の事蹟を今に語り継ぐ法要です。

野田村の門信徒が命をかけて守った浄土真宗の法統を現在に語り継いでおります。どうぞ皆様、お誘い合わせの上御参詣

下さいますよう御案内申し上げます。



【圓滿寺 〒553-0004 大阪市福島区玉川4-4-25 TEL 06-6441-2791】

圓滿寺院主(住職)携帯番号 090-5150-0946

HP(ホームページ)URL <https://fukusima-enmanji.org>

★ 住職の一言 ★ ^{ぐ ぜい} 弥陀弘誓のふね

親鸞聖人が造られた和讃の中に次のような和讃があります。

生死(しょうじ)の苦海ほとりなし ひさしくしずめるわれらをば

弥陀弘(ぐ)誓(ぜい)のふねのみぞ のせてかならずわたしける



これは、高僧和讃の龍樹讃の中の一つです。親鸞聖人はご自分が浄土真宗を開くにあたり教えの影響を強く受けた七人の方々を特に敬われました。「正信偈」には、龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・源空と七人の高僧が登場しますが、この和讃ではインドの龍樹菩薩を讃仰されています。



「生死の苦海ほとりなし」とは、この世はどこまでいっても苦であり、その苦は果てしなく続くということです。人間の苦はいつまでもどこまでも続くのです。その苦に溺れ沈みそうになる人間を「ひさしくしずめるわれら」と表現されます。そこに「弥陀弘誓のふね」がやってきて我々人間を「のせてかならず」お浄土へ「わたしける」と言うのです。



この娑婆世界は本当に苦しみと悲しみにあふれる世界です。その苦しみと悲しみに溺れる私達を阿弥陀様は必ず救うと誓われました。これが弘誓の誓願(本願)です。

阿弥陀様のふねに乗船すれば、勝手にお浄土へ向かいます。乗りさえすれば仏の世界へ直行です。それはまたこの世で命終えるまで安心して生きるということです。

問題はこのふねに乗船できるかどうか。阿弥陀様の本願に私自身をすべて託せるか。新幹線で東京まで乗車する場合、東京行きの切符が必要ですが、皆さんはお浄土行きの切符を持っていますか。御法話を聞くということはこの切符を手に入れる手がかりをいただくということです。切符があれば勝手に阿弥陀様から乗せて下さいます。この切符は信心です。どうか御法話を聞き続けお浄土行きの片道切符を手に入れて下さいませ。

●西本願寺特別参拝●

1月13日(土)西本願寺報恩講圓滿寺特別参拝を実施しました。この特別参拝は元をたどれば彼是 470 年以上前の室町時代に石山本願寺への野田村門徒の参拝として記録されています。当時の本願寺門主證如上人が記された「天文日記」に野田村門徒が参拝したと記載が有ります。その後毎年欠かさずに参拝してきた由緒ある特別参拝なのです。



13日10時の西本願寺御影堂の法要に参拝し、その後御齋(精進料理)を国宝の鴻の間で頂戴します。そして夕方17時頃から勤行の導師として御影堂で勤行します。こうした役職は全国一万余の西本願寺寺院の中でわずか10余の寺院しかあたえられない特権です。また、この役職と参拝は本願寺からの要請で行われ、毎年12月には招待状が届きます。おそらく證如上人の命を救った野田村門徒への感謝の意味を込めて本願寺から招待されるのかと思います。

本年度は下記の御門徒方が参詣され、夕方の勤行と一緒に「正信偈」をお勤めしました。年始にあたり本当にありがたい仏縁に合わせさせていただきました。

参詣の方々： 原田益治・森畑通夫・森畑良子・森畑哲洋・森畑敬子

中野桂子・大島滋子・住職・坊守



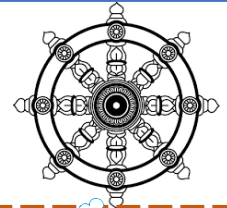
●此花組本願寺団体参拝●



5月21日(火)は本願寺に参拝いたします。此花組の他のお寺の御門徒の方々と一緒に親鸞聖人の降誕会のご縁に遇わせていただきます。全部で約90名。圓滿寺からも数名参加予定です。様子はまたホームページ、Instagramにて投稿致しますのでどうぞ御覧下さいませ。



門信徒の広場



えんまんじCafeについて



4月のえんまんじCafeは4月8日(月)13時から。お釈迦さまの降誕会。花まつり、灌仏会とも言いますね。お釈迦さまは「天上天下唯我独尊」一人ひとりが代わりのいない尊い存在だから、争うことなく認め合って尊重して生きましょとお教え下さっています。甘茶をおかけしてお生まれ下さったことへの感謝のお参りをします。

また5月のえんまんじcafeは5月16日(木)で、親鸞聖人のお生まれをお祝いする降誕会です。去年はピンゴをしました。さあ、今年はどんな降誕会のcafeになるかは楽しみに。皆さんのハンドメイドの素敵な作品と共にお待ちしております。どなたでもフラットお気軽にいらして下さいね(^)o(^) ホームページ・Instagramに写真等掲載していますので、気になる方はチェックしてみてください。

下記の方々が浄土に往生されました。謹んでお念仏もうしあげます。

12・19 渡邊 信義 様 (豊中市) 2・5 南 元治 様 (海老江8)
1・19 南部 キヨ子様 (神戸市) 3・15 松本 友壽 様 (西宮市)



◆ストリートダンス動画◆

昨年12月に本堂や境内でストリートダンスの先生とチームの方による撮影がありました。いつもと違った圓滿寺の魅力が引き出されているように思います。QRコードを読み取ってダンス動画を御覧下さい。



院主携帯番号

(緊急時に)

090-5150-0946



ホームページ



Instagram

スマートフォン等のカメラより上記のQRコードを読み込んで下さい。
InstagramではDMも送れます。



ほっとけまい(米)プロジェクト寄贈御礼



貧困に苦しむ子供達を支援するため「こども食堂」への支援を目的としたほっとけまい(米)プロジェクト。数多くの門信徒の皆様、近所の方、インスタグラムでご縁をいただいた方等からご賛同いただいております。いつもお心を寄せて下さり有り難うございます。寄贈する様子等はホームページやインスタグラムに毎月掲載していますので、そちらも御覧下さいませ。

お米・レトルト食品・お菓子・ジュース・文房具や古着等も受け付けています。今後とも継続してご支援いただきますようお願い申し上げます。

◆春季彼岸会永代経法要◆

天候不順で風が強く雨もばらつく中熱心な御門徒方にお参りいただきました。

貴島信行先生により「柔らかなるころ」と題して御法話いただきました。阿弥陀様のお気持ちをいただくと私達の心が柔軟になると御教示いただきました。

お話を聞くと自分が如何に自己中心的であるか、その姿を気づかされます。

法要の詳しい内容は是非ホームページを御覧下さいませ。



▼ えんまん旅行 ▼



今年第23回圓滿寺研修旅行は6月4日(火)に日帰りで滋賀県の琵琶湖の沖島にある西福寺へ参ります。今から約550年前に本願寺の蓮如上人ゆかりの寺院で、蓮如上人直筆の「虎斑(とらふ)の名号」と「正信偈」が寺宝として伝わっています。近江牛ランチにお買い物はラコリーナ(たねや・クラブハリエの店舗)です。

詳しくはホームページに掲載、または月忌参りで配布しています。気になる方は是非お声掛け下さい。



写真コーナー



12月9日 えんまんじC a f e



12月31日 除夜の鐘



1月1日 修正会



1月4日 納骨堂おつとめ



1月9日 えんまんじC a f e



1月13日 御頭参り (本願寺)



1月16日 初法座



2月3日 役員新年会



2月9日 えんまんじC a f e



2月16日
婦人会ワークショップ



3月9日 えんまんじC a f e
オカリナコンサート



3月20日
春季彼岸会永代経法